

# さくらそう通信



## さくらそうとともに—東京都北区立西浮間小学校

にしうき ましょうがっこう

ここ数年、さくらそうをシンボルとする自治体の紹介を連載してきましたが、今回は学校でのさくらそう栽培を通じて情操教育を実施している東京都北区立西浮間小学校に、活動の様子を紹介していただきました。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

本校は、東京都北区浮間に所在し、東京都と埼玉県の境を流れる荒川に近接し、川向こうは戸田市という位置です。開校は昭和34年（1959年）10月。創立49年目を迎えます。学校の目の前はJR浮間舟渡駅で、埼京線・新幹線が通ります。現在児童数607名。平成21年4月から、学区内浮間2丁目荒川沿いに新築移転を予定しています。



▲全校児童が育てたさくらそうの鉢が正門入り口に展示されます

### 東京都北区立西浮間小学校紹介

北区浮間2丁目17番1号（平成21年度から）

昭和33年9月1日開校

校長 木村 良平 先生

▼平成21年4月からの西浮間小学校



## ■浮間ヶ原のさくらそう

浮間の「日本さくらそう」が全国的に知られるようになったのは、今から300年以上前にさかのぼります。

徳川幕府の初期、徳川家康は浮間ヶ原で鷹狩りをしていました。その折、広い荒川の河原一面に生い茂る雑草の中に、ひっそりと咲くさくらそうの可憐さに心惹かれて持ち帰り、鑑賞したのが始まりと言われます。江戸時代の浮間ヶ原は、まるで絨毯を敷きつめたようにさくらそうが咲いたので、春になると荒川の土手は花見客で大

いに賑わったこともあったそうです。

ところが、昭和初期（1930年代）頃、浮間のさくらそうが減少し始めます。大きな原因は、洪水を防ぐために行った荒川の改修、堤防工事による環境の変化でした。野生のさくらそうが生き続けていくためには、洪水などで上流から運ばれてくる栄養豊富な土と、洪水の勢いでさくらそうの芽をちょうど良い深さに埋めてくれることが必要でした。しかし、改修工事により流れが変わり洪水もなくなり、自生する環境が大きく変化したのです。

さらに、浮間の土が建物の壁の材料として良い品質だ



ったので、大規模に採取されるようになり、工場や家が増えていき、わずかに残っていた浮間のサクラソウは、絶滅寸前の状態に追い込まれました。

こうした中、江戸時代から人々に愛されてきた由緒あるサクラソウを何とか保存しようという声が地元の人々の間に高まり、昭和37年浮間桜草保存会が結成されました。絶滅の危機にあったサクラソウでしたが、保存会の人々の心をこめた栽培作業によって、都立浮間公園横の圃場ほしやうを中心に、大切に育てられています。

## ■西浮間小学校の取り組み



▲20年以上「さくらそうまつり」を実施してきた西浮間小学校の正門（平成20年度末で移転）

郷土浮間を象徴するサクラソウの栽培を通して、本校では生命を大切にする教育、思いやりの心を育てる教育、郷土を愛する教育を意図し、全校児童が一人一鉢栽培に取り組んでいます。この活動は昭和59年度に始まり、平成21年度で25周年を迎えます。この間、本校の特色ある教育活動として定着し、保護者や地域の方々からの声援、保存会の方々からの栽培に係わる指導・助言をいただいています。

春。毎年サクラソウの開花を祝って「さくらそうまつり」を開催します。全校で「さくら草の歌」を歌ったり、大切に育てていこうというメッセージの出しものを披露したり、地域の方々とともに楽しむ会です。全校児童分の約600鉢は、正門入り口に展示されます。北区の圃場にも代表児童の花が出品されます。やがて、花の時期が



▲全校生徒が参加する「さくらそうまつり」

終わると土を増し、肥料を与えます【増し土、お礼肥】。

夏。暑さと乾燥に弱いサクラソウにとって、厳しい季節です。西日を避けるために葦簾よしずを張り、水やりも1日2回にします。また、雑草をこまめに取ります。これらの仕事は一人一人が自分の鉢を世話していきます。夏休みには、栽培委員会の児童が一所懸命世話します。

秋。来年きれいな花が咲くように古根を取り除き、土の中で育った花芽を一つずつ分ける【芽分けの会】を全校で開きます【芽分け】。新しい花芽の植え替え作業は、毎年6年生を中心に行い、サクラソウの栽培方法を継承していきます。保存会やPTAのご協力が大きな支えです。



▲サクラソウの鉢植えの準備の様子▼



冬。サクラソウは寒さに強い花です。この季節は、水やりを気をつけながら暖かな春を待ちます。

児童一人一人が6年間、サクラソウを育てる体験を得ることで、自然や地域を愛する心が深まっています。豊かな情操の育成を願い、浮間桜草保存会やPTAの方々のご支援ご協力をいただきながら、今後も大切に育てていきたいと思ひます。

### ♪「さくら草の歌」—さくら草栽培10周年記念歌♪

作詞 猿渡正則 作曲 磯貝敬智

- |  |  |
|--|--|
| 1 春風そよぐ 野原に<br>きらめく花 さくら草<br>赤、白、ピンク、うす紫<br>色さまざまなさくら草<br>冬の寒さが つらいので<br>春のよるこび 大きいね | 2 春風そよぐ この丘に<br>かがやく花 さくら草<br>赤、白、ピンク、うす紫<br>色あざやかなさくら草<br>空から春雨 ふるときに<br>冬の寒さを 思い出す |
|--|--|